



一般社団法人日本遠隔医療学会

令和4（2022）年度（第12期）定時総会 議案書

第1号議案	令和3年度(第11期) 事業報告
第2号議案	令和3年度(第11期) 決算・監査報告
第3号議案	令和4年度(第12期) 事業計画
第4号議案	令和4年度(第12期) 予算

開催場所	東京都文京区湯島 3-6-1 全国家電会館 1F 会議室
開催形式	対面およびオンラインのハイブリッド開催 定款第21条により、電磁的手段による参加も可 (ZOOMによるオンライン会議を併用)
開催日時	2022年6月18日(土) 14:00～15:00

*** 関連日程 ***

運営会議 ハイブリッド開催
6月18日(土) 15:00～17:00

第1号議案 令和3(2021)年度(第11期)事業報告

I 学術活動

1. 日本遠隔医療学会雑誌(機関誌)の発行

(1) 発行実績

令和3年度は3冊の日本遠隔医療学会雑誌第17巻を発行した。

日本遠隔医療学会雑誌 第17巻1号 令和3年6月 650部

日本遠隔医療学会雑誌 第17巻2号 令和3年9月 700部(大会使用分50部含む)

日本遠隔医療学会雑誌 第17巻補刊号※ 令和4年3月 650部

※補刊号には、以下の発表抄録を収載した。

①JTTA2021 GIFU B演題抄録 ②JTTA スプリングカンファレンス2021抄録

(2) 編集委員会

編集委員会の名簿は以下のとおり。

委員長 森田 浩之 岐阜大学

委員 大山 太 東海大学

木ノ内 玲子 旭川医科大学

酒巻 哲夫 社会福祉法人・恵林/森の泉

鈴木 亮二 高崎健康福祉大学

東福寺 幾夫 高崎健康福祉大学

長谷川 高志 群馬大学

山田 桃子 NPO法人 medical-e.net

2. 第25回日本遠隔医療学会学術大会 JTTA2021 GIFU の開催

新型コロナウイルスパンデミックのため、ハイブリッド方式で開催した。

会期 2021年10月9日(金)～10日(土)

会場 岐阜市 じゅうろくプラザ・岐阜大学サテライトキャンパス

オンデマンド公開期間 令和3(2021)11月30日(火)

大会長 森田 浩之 岐阜大学

テーマ 地域と救急を支える遠隔医療

※実施報告は本会雑誌18巻1号に掲載した。

3. JTTA Spring Conference 2022 の開催

新型コロナウイルスパンデミックのため、オンライン方式で開催した。

抄録集は全会員に事前に配布した。

期日 令和4(2022)年2月5日(土)～2月6日(日)

※実施報告は本会雑誌18巻1号に掲載した。

II 委員会・分科会および社会貢献活動

1. 社会保険委員会

内保連（一般社団法人内科系学会社会保険連合）に長谷川高志（常務理事・社会保険委員長）が内保連・遠隔医療関連委員会・副委員長として活動した。

詳細報告は、本会雑誌 18 巻 1 号に掲載した。

2. 普及委員会

JTTA Spring Conference 2022 を主催し開催した。

3. 編集委員会

投稿規定を改定し、投稿システムの開発を行った。

新投稿システムは、JTTA2022 の A 演題論文、B 演題の投稿から運用を開始する。

4. 禁煙推進学術ネットワークへの加盟、委員派遣

禁煙学術ネットワークにおけるデジタル療法の取り扱いに関わる議論に参加した。

2022 年 1 月に本会としての意見書（要望書）を提出した。

5. 厚生労働省遠隔医療従事者研修事業

（1）事業応募

特定非営利活動法人日本遠隔医療協会を応募団体として、本会を主催団体として、令和 3 年度遠隔医療従事者研修事業に応募し、受託した。

（2）事業実施計画と実施状況

以下の如く 6 回、オンライン方式で開催した。

第 1 回	2022 年 2 月 27 日（日）	14:00～16:00
第 2 回	2022 年 3 月 2 日（水）	18:00～20:00
第 3 回	2022 年 3 月 6 日（日）	14:00～16:00
第 4 回	2022 年 3 月 13 日（日）	14:00～16:00
第 5 回	2022 年 3 月 21 日（月）	14:00～16:00
第 6 回	2022 年 3 月 27 日（日）	14:00～16:00

6. 分科会の活動

以下の 20 の分科会が存在する。なお、○番号分科会の活動報告は本会雑誌第 18 巻 1 号に掲載した。

No.	分科会名	英文名称	分科会長	分科会長所属先
①	国際医療分科会	SIG Video Remote Medical Interpreting	瀧澤 清美	NPO 法人地域診療情報連携協議会
②	在宅見守り支援分科会	SIG Home Telecare	鈴木 亮二	高崎健康福祉大学
③	周産期医療分科会	SIG Perinatal Telemedicine	小笠原 敏浩	岩手県立二戸病院

④	睡眠遠隔医療分科会	SIG Sleep Telemedicine	吉嶺 裕之	医療法人愛仁会 太田 睡眠科学センター
⑤	オンラインバイタルモニタ リング分科会	SIG Guidelines for Telemonitoring Devices from Patient' s Home	中村 昭則	NHO まつもと医療セン ター
⑥	精神科遠隔医療分科会	SIG Telepsychiatry	岸本 泰士郎	慶應義塾大学医学部精 神神経科学教室
7	遠隔医療モデル研究分科会	SIG Telemedicine Model	加藤 浩晃	京都府立医科大学
⑧	市民に遠隔医療をやさしく 学んでもらう分科会	SIG Telemedicine Education for Citizens	大木 里美	遠隔医療をとことん考 える会
⑨	歯科遠隔医療分科会	SIG Teledentistry	長縄 拓哉	デジタルハリウッド大 学大学院
⑩	デジタル療法分科会	SIG Digital Therapeutics / Digital Therapy	佐竹 晃太	日本赤十字社医療セン ター／CureApp Institute
⑪	皮膚科遠隔医療分科会	SIG Tele dermatology	吉崎 歩	東京大学大学院 医学 系研究科・医学部 皮 膚科学
⑫	循環器における在宅医療分 科会		笠原 真悟	岡山大学 心臓血管外 科
⑬	遠隔 ICU 分科会	Tele-ICU subcommittee	高木 俊介	横浜市立大学附属病院 集中治療部
⑭	オンライン診療分科会	Special Interest Group of Online medicine	黒木 春郎	医療法人社団 嗣業の会 外房こどもクリニック
⑮	遠隔医療法務分科会	SIG Telemedicine Legal	伊藤 寛之	弁護士法人 MIA 法律事 務所
⑯	遠隔医療基盤検討分科会	SIG Infrastructure of telemedicine	近藤 博史	鳥取大学医学部附属病 院医療情報部
⑰	へき地遠隔医療分科会	SIG Rural Telemedicine	原田 昌範	山口県立総合医療セン ターへき地医療支援セ ンター
⑱	オンライン服薬指導分科会	SIG Online Medication Instruction	狭間 研至	ファルメディコ株式会 社
⑲	難病患者へのオンライン診 療普及を目指す分科会		江口 幸仁	下垂体患者の会
⑳	テレナーシング分科会	Telenursing Special Interest Group	亀井 智子	聖路加国際大学大学院 看護学研究科

注：遠隔医療モデル研究分科会（分科会長：加藤浩晃）は2年連続で報告書が提出されていないため、活動実態なしと判断し、今後の存続は認めないこととする。

Ⅲ 国際交流活動

1. ISfTeH メンバーシップの維持

2022 年度に引続き、2021 年度の National Member の継続手続きを行い、Member Ship を維持した。

2. ISfTeH Board Member としての活動

近藤博史会長が ISfTeH Board Member として Board Member Meeting に参加した。

2021 年 2 月 12 日 21 時から 2 時

2021 年 5 月 11 日 20 時から 22 時

2021 年 10 月 27 日 22 時から 0 時

2021 年 12 月 10 日 21 時から 23 時

2022 年 2 月 25 日 22 時から 1 時

会長が Dr. Michele Griffith に交代した。

Ⅲ 学会組織の運営

1. 役員、幹事会員および運営会議議員名簿

令和 3 (2021) 年度の役員、幹事会員、運営会議議員名簿は以下の通り。

1) 役員

理事 (任期 2022 年度末まで)

氏名	所属	役職
笠原 真悟	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	理事
黒木 春郎	医療法人社団嗣業の会 外房こどもクリニック	理事
郡 隆之	利根中央病院	常務理事
鈴木 亮二	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科	理事
東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科	専務理事
長谷川 高志	NPO 法人日本遠隔医療協会	常務理事
森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野	理事副会長
近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院 医療情報部	代表理事会長
佐竹 晃太	株式会社キュア・アップ	理事
本間 聡起	埼玉メディカルセンター・健康管理センター	理事

監事 (任期 2024 年度末まで)

吉井 宏文	吉井宏文税理士行政書士事務所	監事
-------	----------------	----

2) 幹事会員 (任期 2022 年度末まで)

氏名	所属	選出方法
石子 智士	旭川医科大学医工連携総研講座	2019 選挙
太田 隆正	太田病院	2019 選挙
大山 太	東海大学医学部看護学科	2019 選挙
笠原 真悟	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	2019 選挙

加藤 浩晃	京都府立医科大学	2019 選挙
黒木 春郎	医療法人社団嗣業の会 外房こどもクリニック	2019 選挙
郡 隆之	利根中央病院	2019 選挙
鈴木 孝昭	弁護士法人 AIT 医療総合法律事務所	理事会推薦
鈴木 亮二	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科	2019 選挙
東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科	理事会推薦
長谷川 高志	NPO 法人日本遠隔医療協会	理事会推薦
福島 明宗	岩手医科大学医学部臨床遺伝学科	2019 選挙
武藤 真祐	医療法人社団鉄祐会	理事会推薦
森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野	理事会推薦
吉田 晃敏	旭川医科大学	2019 選挙

3) 幹事会員（任期 2024 年度末まで）

氏名	所属	選出方法
芦原 貴司	滋賀医科大学 医療情報部・循環器内科	2021 選挙
小笠原 敏浩	岩手県立二戸病院	理事会推薦
近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院 医療情報部	理事会推薦
坂田 信裕	獨協医科大学医学部 情報基盤センター	理事会推薦
佐竹 晃太	株式会社キュア・アップ	2021 選挙
清水 周次	九州大学病院 国際医療部	理事会推薦
高木 俊介	横浜市立大学附属病院集中治療部	2021 選挙
中村 昭則	信州大学病院神経内科	2021 選挙
野村 章洋	金沢大学附属病院先端医療開発センター	2021 選挙
原田 昌範	山口県立総合医療センターへき地医療支援センター	2021 選挙
本間 聡起	埼玉メディカルセンター・健康管理センター	2021 選挙
真原 仁	千葉大学医学部附属病院地域医療連携部	2021 選挙
森山 智彦	九州大学病院国際医療部アジア遠隔医療開発センター	2021 選挙
山田 桃子	NPO 法人 medical-e.net	理事会推薦
米澤 麻子	株式会社 NTT データ経営研究所	2021 選挙

4) 運営会議議員（お名前のみ）

石子 智士、太田 隆正、大山 太、笠原 真悟、加藤 浩晃、黒木 春郎、
郡 隆之、鈴木 孝昭、鈴木 亮二、東福寺 幾夫、長谷川 高志、福島 明宗、
武藤 真祐、森田 浩之、吉田 晃敏、芦原 貴司、小笠原 敏浩、近藤 博史、
坂田 信裕、佐竹 晃太、清水 周次、高木 俊介、中村 昭則、野村 章洋、
原田 昌範、本間 聡起、真原 仁、森山 智彦、山田 桃子、米澤 麻子、
吉井 宏文、児玉 直樹、樽松 八平、原 量宏、酒巻 哲夫、江口 幸仁、
大林 克巳、岡田 宏基、尾形 優子、亀井 智子、岸本 泰士郎、高橋 裕子
狭間 研至、松本 浩樹、村上 礼子、森 一郎、吉崎 歩（以上、47 人）

2. 総会の開催

令和3年度定時総会は、COVID-19蔓延のため、オンライン方式で開催した。

(1) 方式 定款第21条による電磁的手段による会議（Zoomによるオンライン会議）

(2) 期日 令和3（2021）年6月26（土）15:00～15:30

(3) 議案書 メール添付にて送付

第1号議案 令和2年度（第10期）事業報告

第2号議案 令和2年度（第10期）決算・監査報告

第3号議案 令和3年度（第11期）事業計画

第4号議案 令和3年度（第11期）予算

第5号議案 理事選任の件

(4) 審議参加状況

議決権のある社員総数 30名（議決権の数 30個）

出席社員数（委任状による者を含む） 24名（議決権の数 24個）

出席理事 近藤博史（議長兼議事録作成者）、森田浩之、東福寺幾夫、長谷川高志、
郡 隆之、鈴木亮二

欠席理事 坂田信裕、山田桃子、武藤真祐、岡田宏基（いずれも委任状提出）

出席監事 吉井宏文

(5) 審議結果

第1号議案 令和2年度（第10期）事業報告承認の件

満場異議なく、承認可決した。

第2号議案 令和2年度（第10期）決算承認の件

満場異議なく、承認可決した。

第3号議案 令和3年度（第11期）事業計画承認の件

満場異議なく、承認可決した。

第4号議案 令和3年度（第11期）予算承認の件

満場異議なく、承認可決した。

第5号議案 理事と監事の任期満了に伴う改選に関する件

下記の者につきその可否を諮ったところ、満場異議なく賛成した。

	氏名	所属	生年
理事	笠原 真悟	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	1963年
	黒木 春郎	医療法人社団嗣業の会 外房こどもクリニック	1957年
	郡 隆之	利根中央病院	1969年
	近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院 医療情報部	1956年
	佐竹 晃太	株式会社キュア・アップ	1982年
	鈴木 亮二	高崎健康福祉大学健康福祉学部	1967年
	東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部	1951年
	長谷川 高志	NPO 法人日本遠隔医療協会	1956年
	本間 聡起	埼玉メディカルセンター・健康管理センター	1959年

	森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野	1959年
監事	吉井 宏文	吉井宏文税理士行政書士事務所	

なお、被選者は、席上その就任を承諾した。

3. 理事会の開催

理事会は以下のとおり2回開催した。

【第1回理事会】(旧メンバーによる会議)

審議期間	2021年6月10日(木)～同年6月14日(月)
審議事項	(1)2021-2022年度運営会議議員の選任について (2)2021年度定時総会議案書について

【第2回理事会】新任理事による会議

日時	2021年6月26日(土) 14:35～15:00
方式	ZOOMによるオンライン開催
審議事項	理事の役割分担について
審議結果	以下の如く、役割分担を決定した
	会長・代表理事 近藤 博史 重任
	副会長 森田 浩之 重任
	専務理事 東福寺 幾夫 重任
	常務理事 長谷川 高志 重任
	常務理事 郡 隆之 新任

4. 運営会議の開催

運営会議は、以下のとおり3回開催した。

【第1回運営会議】 ハイブリッド開催

日時	2021年10月8日(金) 16:00～18:00
場所	岐阜大学サテライトキャンパス多目的会議室<オンライン参加可>
次第	(1) 会長挨拶 近藤博史会長
	(2) 2021年度定時総会報告 事務局
	(3) 2021-2022年度理事自己紹介
	(4) 運営会議議員自己紹介
	(5) JTTA2021開催準備状況について 森田浩之大会長
	(6) JTTA2022開催準備状況について 本間聡起大会長
	(7) JTTA2023開催準備状況について 児玉直樹大会長
	(8) JTTA2024大会長および開催地について 事務局
	大会長：笠原真悟先生(岡山大学) 開催地：岡山市
	(9) SC2022の開催について 長谷川普及委員長
	・期日 2022年2月5日(土)、6日(日)
	・場所 東京都文京区湯島 全国家電会館 5Fホール

- (10) 編集委員会から報告 鈴木亮二編集委員
- ・投稿既定の改訂について
 - ・新投稿システムと査読支援体制について
 - ・査読者希望調査について
- (11) 普及委員会から報告 長谷川高志普及委員長
- ・内保連・中医協・厚労省の動き
 - ・禁煙推進学術ネットワークの活動
- (12) 事務局報告 東福寺事務局長
- ・会員状況について
 - ・会計執行状況について
 - ・群馬県遠隔医療研修について

【第2回運営会議】 通信 (ZOOM) によるオンライン開催

日時 2021年12月4日(金) 13:00~15:00

- 次第 (1) 開会挨拶 近藤博史会長
- (2) JTTA2021 開催結果について 森田浩之大会長
- ・発表演題数はA演題14、B演題43、シンポジウム9であった。
 - ・ランチョンセミナー4、スポンサードセミナー1、展示12社となった。
 - ・参加者は、事前登録157人(内会員75)、当日参加35人(同13)、オンデマンド視聴54人(同26)であった。
 - ・COVID-19 クラスタを発生させることなく無事終了できた。
 - ・赤字は、米子基金を取り崩し補填することが全会一致で承認された。
- (3) JTTA2022 開催準備状況について 本間聡起大会長
- ・会期 2022年10月28日(金)、29日(土)
 - ・会場 さいたま市埼玉会館(さいたま市浦和区高砂3-1-4)
 - ・懇親会は、大宮の鉄道博物館で開催する。
- (4) JTTA2023 開催準備状況について 児玉直樹大会長
- ・児玉大会長欠席のため、報告はなし。
- (5) JTTA2024 開催地・開催時期等について 笠原真悟大会長
- ・2024年11月7日(土)、25日(日)を軸に検討する。
 - ・会場は、岡山駅直結・岡山コンベンションセンター。
- (6) SC2022 の開催について 長谷川普及委員長、事務局
- ・期日 2022年2月5日(土)、6日(日)
 - ・場所 全国家電会館、ただしオンライン配信を前提とする
- (7) 編集委員会から報告
- ・新投稿受付システムについて 鈴木亮二編集委員
 - ・SC2022 一般演題から使用を開始する
 - ・JTTA2022 のA演題、B演題募集にも利用する 本間聡起大会長
 - ・学会雑誌17巻補刊号は年度内の発行予定で編集中。山田桃子編集委員

- (8) 学会雑誌 18 巻 1 号分科会活動報告等原稿提出について 東福寺幾夫事務局長
 ・分科会長、委員長は今年度の活動報告書を提出すること。
 ・2 年連続未提出の場合には分科会の継続を認めない。
- (9) 普及委員会から報告
 ・内保連・中医協・厚労省の動きなど 長谷川高志普及委員長
 ・禁煙推進学術ネットワークの活動報告 佐竹晃太普及委員
- (10) 皮膚科分科会学術研究集会について報告 吉崎歩皮膚科分科会長
 ・11 月 7 日に初回の研究集会をオンラインで開催した。
 ・この協賛金として、企業 2 社から 200 万円の入金があった。
 ・会計上、協賛金の収入科目への追加し、入金を処理した。 事務局
- (12) 事務局から報告 東福寺幾夫事務局長
 ・会員状況・会計執行状況について
 ・群馬県遠隔医療研修の受託について
- (13) その他
 ・ルーラルナーシング学会について 村上礼子議員
 来年度は長崎県立大学で、9 月 17, 18 日に開催する。
 ・国際協力委員会 樽松八平委員長
 総務省がエストニア、ミクロネシアで遠隔医療の海外協力を進めている。
 ・日本デジタルパソロジー研究会 森一郎議員
 2022 年 1 月に法人化すべく、作業中。
 ・日本在宅ケア学会 亀井智子委員
 テレナーシングに関する研修を日本在宅ケア学会がスタートした。
 看保連への加盟を検討していただきたいとの発言があった。

【第 3 回運営会議】

通信 (ZOOM) によるオンライン開催

開催日

2022 年 2 月 6 日 (日) 13:00~15:00

- (1) 会長挨拶 近藤博史会長
- (2) 会員の受賞紹介 事務局
 ・第 21 回 Japan Venture Awards 経済産業大臣賞 佐竹晃太先生
 SDG s 特別賞 中西智之先生
- (2) JTТА2021 決算と赤字の処理について 森田浩之大会長
- (3) JTТА2022 開催準備状況について 本間聡起大会長
 ・会期 2022 年 10 月 28 日 (金)、29 日 (土)
 ・会場 さいたま市埼玉会館 (さいたま市浦和区高砂 3-1-4)
 ・懇親会は、大宮の鉄道博物館で開催する。
- (4) JTТА2023 開催準備状況について 児玉直樹大会長
 ・会期 2023 年 11 月 11 日 (土)、12 日 (日)
 ・会場 新潟市朱鷺メッセ
- (5) JTТА2024 開催地・開催時期等について 笠原真悟大会長

- ・会期 2024年11月 日程は調整中
- ・会場 岡山市岡山コンベンションセンター
- (6) 厚生労働省遠隔医療従事者研修事業について 長谷川高志普及委員長
特定非営利活動法人日本遠隔医療協会を応募団体として、本会を主催団体として、令和3年度遠隔医療従事者研修事業に応募し、受託した。
- (7) 来年度のスプリングカンファレンスについて 長谷川普及委員長、事務局
 - ・期日 2023年2月4日(土)、2月5日(日)
 - ・会場 全国家電会館、オンライン配信あり
- (8) 編集委員会から
 - ・新投稿受付システム稼働について 鈴木亮二編集委員
 - ・学会雑誌17巻補刊号の発行について 山田桃子編集委員
 - ・学会雑誌18巻1号分科会活動報告、委員会報告提出について 事務局
- (9) 普及委員会から
 - ・内保連・中医協・厚労省の動きなど 長谷川高志普及委員長
 - ・禁煙推進学術ネットワークの活動報告 佐竹晃太普及委員
- (10) 事務局報告 東福寺事務局長
 - ・会員状況・会計執行状況について

5. 会員の状況

(1) 令和3年3月31日現在会員数(全員が2021年度会費を納入したわけではない)

正会員	686人(前年度末は685人) 30人の幹事会員を含む。
学生会員	40人(前年度末43人)
購読会員	5人(前年度末7人)
賛助会員	14社(前年度末17社)

(2) 令和3年度新規入会者

正会員	51人(前年度110人)
学生会員	7人(前年度10人)
購読会員	0人(前年度0人)
賛助会員	3社(前年度1社)

(3) 令和3年度退会者

本人意思	42人(前年度41人)
3年会費未納	36人(前年度22人)
逝去	1人(前年度1人)

6. ホームページの運用

日本語ページURL	http://jtta.umin.jp/index.php
英語ページURL	http://jtta.umin.jp/eng/index.php

(1) 日本語ページ運用状況

- ・トップページのお知らせは、31回掲載・更新した。
- ・学術大会 JTTA2021 のバナーをトップページに掲載し、大会サイトアクセスの便宜を提供した。
- ・Spring Conference 2022 については、専用ページを作成した。
トップページにはバナーを配置し、情報提供、演題募集、参加登録の便宜を提供した。

(2) 英語ページを運用状況

英語のページについては更新ができておらず、今後運用の改善が必要である。

以上。

第2号議案 令和3(2021)年度(第11期)決算報告

1. 貸借対照表

貸借対照表

令和4年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
借方科目名	金額	貸方科目名	金額
	円		円
(流動資産合計)	9,201,031	(流動負債合計)	10,000
普通預金	8,125,446	前受会費	10,000
定額貯金	400,000		
学会誌バックナンバー	513,475	負債合計	10,000
備品費	162,110		
		資 本 の 部	
		前期繰越正味財産	9,319,329
		当期正味財産増加額	△ 128,298
資産合計	9,201,031	負債及び正味財産合計	9,201,031

2. 財産目録

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
(流動資産合計)	9,201,031	(流動負債合計)	10,000
郵貯銀行 普通口座ぱるる	907,413	前受会費	10,000
郵貯銀行 振替口座	718,021		0
群銀 高崎	441,796		0
群銀高崎栄町1	1,609,661	負債合計	10,000
P a y P a l	7,632		
群銀高崎栄町2	4,440,923	資 本 の 部	
定額貯金	400,000	前期繰越正味財産	9,319,329
学会誌バックナンバー	513,475	当期正味財産増加額	△ 128,298
備品費	162,110	負債及び正味財産合計	9,201,031
資産合計	9,201,031	負債及び正味財産合計	9,201,031

3. 収支報告書

収支報告書

自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

科 目		金 額	
			円
【会費収入】			
	幹事会員会費収入	450,000	
	正会員会費収入	4,880,000	
	学生会員会費収入	76,000	
	購読会員会費収入	30,000	
	賛助会員会費収入	800,000	
	過年度会員会費収入	444,000	6,680,000
【参加費収入】			
	SpringConference参加収入	676,000	676,000
【学会誌事業収入】			
	J T T A 論文掲載料	260,000	
	学会誌バックナンバー販売	59,000	
	著作権使用料	19,965	338,965
【その他収入】			
	受取利息	81	
	分科会活動協賛金	2,000,000	
	会員不詳会費預かり金	12,000	2,012,081
	経常収入合計	0	9,707,046

【事業費】		0	0
	SpringConference開催費	538,478	0
	委員会活動費	70,282	0
	分科会活動助成金	2,049,500	0
	広報活動費	151,800	0
	会議費	1,730	0
	機関誌印刷費	2,656,031	0
	論文査読支援業務費	541,200	0
	論文投稿受付システム費	459,800	0
	学術大会支援費	1,209,531	0
	内保連年会費	200,000	0
	禁煙推進学術ネットワーク年会費	100,000	0
	IS f TeH年会費	59,370	8,337,722
【管理費】		0	
	事務局人件費	150,500	
	事務局業務委託費	82,500	
	国内旅費	120,160	
	運搬通信費	481,780	
	手数料	10,230	
	消耗品費	237,377	
	税理士報酬	330,000	
	雑費	25,760	
	学術大会準備金	300,000	1,438,307
	経常支出合計		9,776,029
	経常収支差額		△ 68,983
	その他資金支出合計		59,315
	バックナンバー廃棄損	59,315	
	当期正味財産増加額		△ 128,298
	当期正味財産合計		9,191,031

4. 監査報告書

監査報告書

私は、令和4年4月20日、役員より提出された令和3年分事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について総勘定元帳ならびに証憑書類の提出を求め、所定の監査を実施しました。

その結果、適正に処理されていると認められたのでここに報告します。

令和4年4月20日

一般社団法人 日本遠隔医療学会

監 事

吉井 宏文 

第3号議案 令和4(2022)年度(第12期)事業計画

1. 学術活動

(1) 学会雑誌発行

日本遠隔医療学会雑誌	18巻1号	2022年6月発行	700部程度
日本遠隔医療学会雑誌	18巻2号	2022年10月発行	700部程度
日本遠隔医療学会雑誌	18巻補刊号	2023年3月発行	700部程度

(2) 学術集会開催

第26回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2022 SAITAMA)

大会長	本間 聡起 (埼玉メディカルセンター)
プログラム委員長	秋山 美紀 (慶応義塾大学)
実行委員長	小林 直樹 (埼玉医科大学)
会期	2022 (令和4) 年10月28日 (金) -29日 (土)
会場	埼玉会館 (さいたま市浦和区)

JTTA Spring Conference 2023

会期	2023年2月4日 (土) -5日 (日)
会場	全国家電会館 (東京都文京区湯島)

(3) 学術大会開催準備

第27回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2023)

大会長	児玉 直樹 (新潟医療福祉大学)
開催日	2023年11月11, 12日
会場	新潟市・朱鷺メッセ

第28回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2024)

大会長	笠原 真悟 (岡山大学)
会場	岡山コンベンションセンター

第29回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2025)

大会長と開催地を今年度中に決定する。

2. 委員会・分科会および社会貢献活動

(1) 委員会

各委員会の活動方針と計画に従い、着実に活動を展開する。

(2) 分科会

各分科会の活動が滞りなく進行するよう、適切な支援を実施する。

(3) 社会貢献活動

関連団体と連携し、社会の要請に対応する。

3. 国際交流・広報活動

(1) ISfTeH

ISfTeH のメンバーシップを維持・継続する。また、近藤博史氏の役員活動を支援する。

(2) ホームページのリニューアルと運用

ホームページを使いやすく改造し、英語ページの運用を定着させる。

(3) 各方面からの問合せへの対応

報道機関その他の問い合わせに、タイムリーに対応する。

4. 政策支援活動

内保連・禁煙推進学術ネットワークと連携して、医療保険制度に関わる活動を展開する。

5. 組織運営

(1) 2023 年幹事会員選挙の準備

- ・理事会選任幹事会員の選任（2023 年 3 月までに理事会で決定する）
- ・選挙人名簿の確定

(2) 定時総会

定時総会	2022 年 6 月 18 日	全国家電会館および ZOOM によるハイブリッド開催
------	-----------------	----------------------------

(3) 理事会

第 1 回理事会	2022 年 6 月	総会議事録の審議（メールによる開催）
第 2 回理事会	2022 年 10 月	JTTA2022 会場
第 3 回理事会	2023 年 2 月	SC2023 会場

(4) 運営会議

第 1 回運営会議	2022 年 6 月	定時総会後に開催・ハイブリッド
第 2 回運営会議	2022 年 10 月	JTTA2022 会場
第 3 回運営会議	2022 年 12 月	東京
第 4 回運営会議	2023 年 2 月	SC2023 会場

(5) 事務局

- ・財務・会計 健全・正確な財務会計を維持し、会費・掲載料の適正な収納に努める。
- ・会員管理 正確な名簿を維持し、会員サービスの適時提供に努める。
- ・ホームページ タイムリーで正確な情報発信に努める。
英語ページの発信力向上を目指した運用を再検討する。
- ・役員、委員会、分科会活動、市民活動の適切な支援に努める。
- ・ISfTeH 窓口業務を遂行し、メンバーシップを維持する。
- ・その他 会の運営維持に関わる事項を遅滞なく実施する

(6) 委員会・・・年度末に活動報告を提出し、学会誌 19 巻 1 号に掲載する。

- ・編集委員会 学会雑誌 18 巻 1, 2, 補刊号の発行
- ・普及委員会 Spring Conference 2023 開催、日本遠隔医療協会事業への協力支援。
- ・社会保険委員会 内保連との連携と医療保険制度の周知

- ・国際交流委員会 国際交流の支援
 - ・選挙管理委員会 2023 年度幹事会員選挙の準備
- (7) 分科会・・・年度末に活動報告を提出し、学会誌 19 巻 1 号に掲載する。
- ・分科会の継続確認
 - ・適切な助成の実施

第4議案 令和4(2022)年度(第12期)予算

第12期(2022年4月1日～2023年3月31日)の収支計画は以下のとおり。

	科目	2021年度実績	2022予算	予算コメント
事業収入	(1) 会費収入	6,680,000	7,160,000	
	幹事会員会費 当年度分	450,000	450,000	30人×15,000円
	正会員会費 当年度分	4,880,000	5,500,000	550人×10,000円
	学生会員会費 当年度分	76,000	100,000	25人×4,000円
	購読会員会費 当年度分	30,000	40,000	4人×10000円
	賛助会員会費 当年度分	800,000	750,000	15社×50,000円
	会費 過年度分	444,000	320,000	延べ40人×8,000円
	(2) 参加費収入	676,000	1,200,000	
	役員研修会参加費	-	-	開催なし
	Spring Conference参加費	676,000	1,200,000	150人×8,000円
	(3) 国際交流事業収入	-	-	
	ASEAN Forum開催資金	-	-	
	(4) 学会誌事業収入	2,338,965	320,000	
	学会誌別刷作成	-	-	
	J T A 論文掲載料	260,000	250,000	延べ25人×10,000円
	学会誌バックナンバー販売	59,000	60,000	6000円×10冊
	分科会活動協賛金	2,000,000	-	
	その他販売	-	-	
	著作権使用料	19,965	10,000	医中誌等
	(5) その他収入	1,521,567	20	
	受取利息	36	20	
	貸付金戻入れ	-	-	
	米子基金から振替	1,209,531	-	
その他収入	12,000	-		
寄付金受け入れ	-	-		
学術大会準備金戻入れ	300,000	-		
当期事業収入合計	11,216,532	8,680,020		
事業支出	(1) 事業費	2,021,321	2,830,000	
	分科会活動助成金	49,500	200,000	4分科会×5万円
	分科会活動費	-	-	
	役員研修会開催費	-	-	開催せず
	Spring Conference開催費	538,478	1,200,000	講師謝金・会場費・運営費・抄録集印刷費等
	国際ワークショップ開催費	-	-	開催せず
	委員会活動費	70,282	100,000	各種委員会会議費
	広報活動費	151,800	430,000	HP維持費13万円、HPリニューアル30万円
	会議費	1,730	300,000	総会・理事会・運営委員会等会場費、運営費、通信費
	国際交流費	-	600,000	ISfTeH役員会派遣費(2人×30万円)
	学術大会支援費	1,209,531	-	JITA20201支援
	(2) 学会誌事業支出	3,725,177	3,600,000	
	機関誌印刷費	2,724,177	2,800,000	18巻各700冊1号1.0千円2号2.0千円3号1.0千円
	論文査読支援業務費	541,200	700,000	論文査読業務支援委託等
	論文投稿受付システム費	459,800	100,000	論文投稿受付システムメンテナンス
	論文別刷印刷費	-	-	
	(3) 加盟費	359,370	430,000	
	内保連等年会費	200,000	270,000	内保連20万円、看保連7万円
	禁煙推進学術ネットワーク年会費	100,000	100,000	
	ISfTeH年会費	59,370	60,000	500USD×120JPY/USD
	(4) 管理費	1,581,307	1,340,000	
	事務局人件費	150,500	150,000	アルバイト
	事務局業務委託費	82,500	120,000	学会誌等発送業務委託 3万円×4回
	国内旅費	120,160	50,000	
	海外旅費	-	-	
	運搬通信費	481,780	380,000	請求書郵便10万円、電話4万円、ヤマト運輸24万円
	手数料	10,230	30,000	
	消耗品費	237,377	250,000	封筒・請求書用紙他
	備品費	143,000	-	PC1台
	税理士報酬	330,000	330,000	30万円+税
	雑費	25,760	30,000	
	(5) 租税公課	-	-	
	租税公課	-	-	
(6) その他の支出	600,000	300,000		
学術大会準備金	600,000	300,000	JITA2023/30万円	
当期事業支出合計	8,287,175	8,500,000		
事業収支	当期事業収入合計	11,216,532	8,680,020	
	当期事業支出合計	8,287,175	8,500,000	
	当期事業収支	2,929,357	180,020	

予算編成の要点は以下の通り。

(1) 収入について

- ・正会員会費 会費を納入する正会員は、550 人と見込む。
- ・賛助会員会費 賛助会員は 15 社と見込む。

(2) 支出について

- ・国際交流費 近藤会長の ISfTeH 役員就任に伴い、年 1 回の対面会議が予定されている。補助者を含め 2 名×1 回の旅費 60 万円を計上した。
- ・機関誌印刷費 単価 1 号 1 千円・2 号 2 千円・補刊号 1 千円で各 700 部。
- ・論文査読支援業務費 論文査読支援業務外注費用として 70 万円を計上した。
- ・論文投稿受付システム費 メンテナンス費として 10 万円を計上した。
- ・運搬通信費および消耗品費 幹事会員選挙がないため昨年度より減額。

(3) 事業収支について

- ・キャッシュフローベースでは約 18 万円の黒字を計画し、健全財政を維持できる。

以上。